

## 中学部

「豊かな人間関係」につながる指導内容の  
検討と授業づくり

# 「豊かな人間関係」につながる指導内容の検討と授業づくり

## — 中学部における「くらし」の再考から —

池尻加奈子 鈴木笑実 中澤恵 中村昌宏 野原隆弘  
原田純二 蓮香美園 松田久美子 矢間直世 山内裕史  
伊藤友彦 加瀬進 濱田豊彦

### I はじめに

#### 1. 本校の「くらし」について

##### 1) 本校の教育課程と「くらし」

本校では、平成12年度から平成15年度までの4年間、「個別のニーズにこたえる教育課程」をめざして研究を進めてきた。そして、個別教育計画による個別の教育的ニーズの把握の累積の結果と、近年の社会的要請の観点から、教育課程を編成するための新しい内容区分を以下のように考えた。すなわち、知的障害のある幼児児童生徒の教育的ニーズに応じた支援内容として、「生活支援」「学習支援」「就労支援」「余暇支援」の4つの区分と、それらの基礎・基本となるコミュニケーション支援を加えた支援内容区分である。この取り組みの中で「生活支援」の中軸となる新教科として新設したものが中学部・高等部の「くらし」であった。

本校の「生活支援」の指導内容は『身近生活』『家庭生活』『集団生活』『地域生活』『経済生活』『健康・安全・性』から指導内容を配列し、家庭や地域で暮らすための基礎的な知識や技能、態度を形成するとともに、将来の生活を主体的に切り開いていこうとする力への支援を趣旨とする。一人一人の自立生活をめざした「生活支援」という視点を導入することによって、「生活支援」の趣旨と内容を象徴する新しい教科の創設や授業の創造を目指したのが「くらし」で、それを中学部・高等部の生徒の生活支援の内容を扱う中心的な教科として位置づけることとした。(本校紀要NO.48)

##### 2) 中学部の「くらし」

「くらし」が新設された当初の指導計画作成にあたって中学部では、①生徒の生活実態に即した指導内容であること。②技能と知識の獲得の両側面からの指導内容であること。この2点に関して検討が行われ、その上で、中学部における「くらし」のねらいは次のように設定された。

家庭生活に必要な調理、被服、住まいなどに関する基本的な知識と技能を身につけるとともに、地域で生活するために基本的な知識（健康・安全・性、金銭など）を知り、進んで家庭や地域生活での生活に参加できるようになる。

前述①の生徒の生活実態に即した指導内容準備としては、個別教育計画の希望調査であがってきた生活に関する希望なども参考にしながら、内容の検討が行われた。さらに、前述②に関しては、生活の技能獲得を重視した授業「くらし（技能）」と生活の知識獲得を重視した授業「くらし（生活知識）」といった2つの授業が設定された。その年間の指導時間については、以下のように考えられていた。(本校紀要NO.47)

「くらし（技能）」	: 2時間×20回
「くらし（生活知識）」	: 1時間×14回
くらし総授業時数54時間	

### 3) 高等部の「くらし」との関連や段階性について

高等部の「くらし」との相違点としては、高等部では学習内容、学習方法などを生徒本人が選択する機会を保障していたり、支援表明（援助が必要な時は積極的に依頼を行う）を重要視しているが、中学部では指導計画で準備された内容を一通り学習し、能力にあった実力が身につけられるように内容を設定した。中学部で一通りの学習を行った後に、高等部においてより本人のニーズに基づいて学習内容の選択がおこなわれるといった流れが組み込まれてきた。これは高等部において、繰り返しの学習機会を持つことによって技能や知識の獲得を促していくことを重視している。家庭での生活の知識・技能の獲得を重視し、さらには将来的に地域生活への方向性を促していく中学部段階にとって必要な流れと考えられていた。

さらに、指導形態については、新設当初、高等部は課題別によるグループ編成での授業を行っていたが、中学部では、学年別による内容の設定や学年別による授業を設定してきた。他の学校から入学してくる生徒が比較的多い中学部にとっては、生徒達の獲得してきた生活の知識や技能の差が大きいため、学年ごとに内容を押さえた方が望ましいと判断したためである。また、設定した指導内容を一通り学習することが望ましいと判断した理由からもこの学年別による内容の設定や学年別による授業の設定を行った。（本校紀要NO.47）

高等部との指導内容のつながりに向けては、「くらし（技能）」では『調理』『被服』『住まい』といった分野を高等部と共通して持つこととし、「くらし（生活知識）」においてもその内容に継承性が持てるようにと考えられた。

### 4) 中学部の「くらし」の現状と課題について

「くらし」が新設されてから、授業実践を重ねていくなかで、大きく2つの課題が繰り返し話題になってきた。

一つには、新設された当初の「くらし」の指導計画と関わる課題であった。新設当初の指導計画は学年毎に各題材の期間・目標・内容・方法が示されてはあるものの、例示が簡単な記載にとどまっているため、生徒の実態をふまえた授業へ展開していく際の解釈の幅が広すぎ、担当者によって指導内容が大きく異なり、偏りがやすいということ。さらに、実際には生徒の実態や個別教育計画との関係もあり、各学級の実態にあわせ指導計画を立て授業を展開しているが、取り上げる時期や回数は学級によって様々であること。また、新設された当初の指導計画の資料だけでは担当者になった時「何をどのように教えるか悩んでしまう」等、の声も繰り返し聞かれていた。

そして、もう一つには、高等部とのつながりに関わって検討を積み重ねる必要性についてである。現実としては、「くらし（技能）」「くらし（生活知識）」のいずれも指導内容の段階性、系統性、妥当性等で高等部の指導内容と、一つひとつの実践を踏まえたすりあわせを行う必要がある。

今年度の本校の全校テーマは「豊かな人間関係をめざした授業づくり」である。「くらし」の特に『生活知識』の指導計画には豊かな人間関係を育てていくために必要と考えられる指導内容も複数配列されている。今年度は新設当初の指導計画見直しから、授業作りを行い、全校テーマに迫っていきたい。この取り組みにおいて、中学部段階で育てたいことを明らかにしていくことは中学部で課題になっていることに対する解決の一助となり、高等部との関連や段階性について議論を深めていくための足がかりにもなると考えている。

## 2. 今年度の目的

前述したことをふまえ、以下の2点を今年度の目的とする。

【目的1】個別の教育的ニーズ支援システム（S I E N）に従って、中学部における「くらし」

の指導計画を見直していく上での視点を整理する。

【目的2】 中学部における「くらし（生活知識）」の指導計画を見直し、豊かな人間関係につながる指導内容の検討と授業作りを行う。

## II 方法

### 1. 【目的1】に対する方法

- 1) 「個別教育計画（B）」において「くらし」に関わる『本人・家族の希望』の傾向の検討を行い、生徒の生活実態に即した指導内容作成に向けて資料を得る。
- 2) 今年度当初の各学年で作成した指導計画を「くらし（技能）」の調理・被服・住まいと「くらし（生活知識）」に再分類して整理し、実践資料とも照会し、指導内容を検討していく上での資料を得る。
- 3) 研究授業で授業や個別教育計画の評価等を行い、指導計画を見直していく上での視点を整理する。具体的には以下の手続きで検討する。
  - (1) 授業者は指導案を作成し、題材設定の理由を詳述、生徒の実態と課題をふまえた題材感について言及する。
  - (2) 指導案に則った研究授業を行う。
  - (3) 授業研究会を行い、そこでの協議と授業や個別教育計画の評価等から、指導計画見直しの手がかりとなる視点を抽出する。
  - (4) 共同研究者の助言を得て、抽出した視点を分類する。

### 2. 【目的2】に対する方法

- 1) 前述の検討により得た成果を踏まえ、「くらし（生活知識）」の指導計画を見直す。
- 2) 新たな「指導計画」に基づいた授業作りを行い、中学部段階でおさえたい、豊かな人間関係につながる指導内容に関して議論を深める。

## III 結果と考察

### 1. 「個別教育計画（B）」における「くらし」に関わる『本人・家族の希望』の傾向

2009年度の『本人・家族の希望』、22家族から出された希望（のべ200）をもとに、「生活」「学習」「行動」「進路」希望の割合を比べたものを図1に示した。「生活」に関わる希望が全体の49%であった。「くらし」を教科として立ち上げた2002年度にも過去3年分の希望の割合について明らかにしている。当時は生活40%、学習28%行動18%、進路14%という割合で、それが「くらし」を新教科として立ち上げる背景のひとつにもなっていた。（本校紀要NO.47）図1の結果をそれと単純に比較するわけにはいかないものの、「生活」に関わる希望は依然として高いことは明らかである。

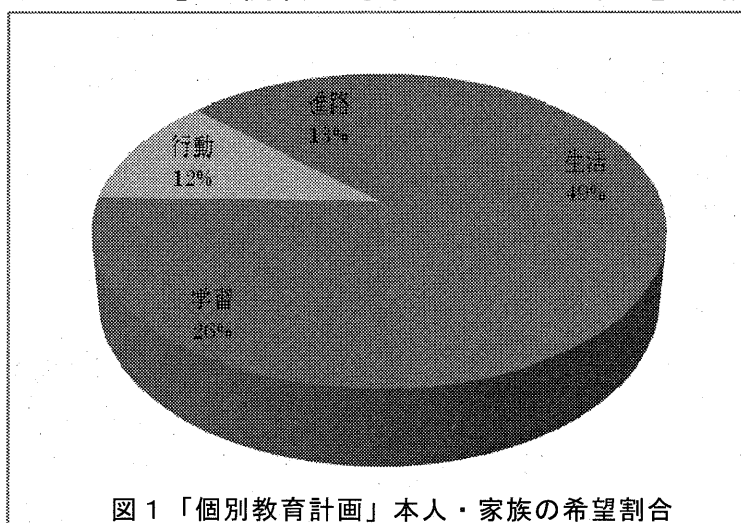


図1 「個別教育計画」本人・家族の希望割合

次に、「生活」の希望（のべ98）を更に「身近生活」「家庭生活」「集団生活」「地域生活」「経

「経済生活」「健康・安全・性」で分類し、比較したものが図2である。最も多かったのは「周辺生活」「集団生活」であった。

「周辺生活」では二次性徴に対応して身につけたい知識や周辺処理の技能に関するものや、『身だしなみを自己チェックできる』『スカートで足を開かない』『姿勢よくすわれるようにしたい』『気温に応じた衣類の調節ができるようになる』『公衆トイレに一人でいってできるようにしたい』等の日常生活において自分で着実に周辺処理を行える力をつけさせたいというものが中心になっている。

「集団生活」に関する希望は主に2つに大別された。一つには『友だちとのやりとりの中で、思いを伝えること相手の気持ちを考えることを学んでほしい』『友だちと仲良く遊んだり、行動できる』『中学生らしいコミュニケーション、人との距離の取り方』『異性に対する接し方』等の友だちとのかかわり方に関連する力をつけさせたいというもの。もう一つは『挨拶、返事がきちんとできる』『挨拶がきちんとできる』『年上の人に対して適切な言葉遣いができる』等、挨拶・言葉遣いに関連するスキル・態度をつけさせたいというものであった。

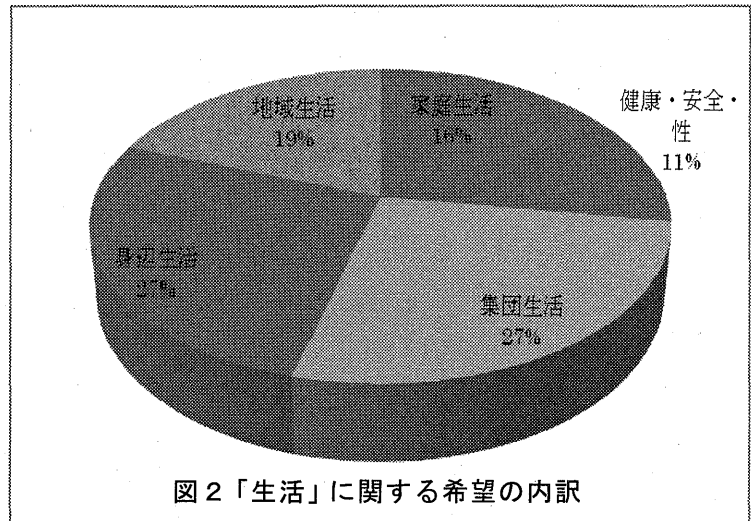


図2 「生活」に関する希望の内訳

「地域生活」では『駅や電車内でマナーを守る。』『一人で登下校ができる』等、大部分が登下校に関わるものであった。これは、全校生徒が公共機関を使って登下校をしている本校ならではのこともいえる。

「家庭生活」では『料理のレパートリーを増やしたい』『裁縫、ミシンかけに挑戦する』『洗濯、調理、掃除、片付け、お風呂、買い物等家庭生活上に必要な技術を身に付ける』『片付けや掃除が上手にできる』等の家庭生活に必要な調理、被服、住まいに関する基本的技能・知識をつけさせたいというもの、さらに『毎日の生活の中で本人の仕事の確立』『手伝いなど役割をきちんとできる』等家族の一員として役割を果たせるようになってほしいというものであった。

「健康・安全・性」では『健康的な生活リズムを作り、からだを動かす習慣を作る』『やや肥満の解消』等の健康維持に向け運動する習慣を身につけさせたいというものが大部分を占めていた。

なお、「経済生活」に分類される希望は「生活」には記載がなかったが、「学習」に『お金の理解』『お金の使い方の学習が多めにあるといい』というものがあつた。

## 2. 新設当初と平成21年度の「くらし」指導計画の比較から

新設当初（平成14年度）の「くらし」の授業は、3学年とも、技能の授業を水曜日の3、4校時に年間20回、生活知識の授業は月曜日3校時に年間14回を標準として指導計画が立てられていた。その後、他学部との教室使用調整等の関わりや、週時表の見直しなども経て、今年度（平成21年度）は1年生が月曜日4校時と火曜日の3、4校時、2年生が月曜日5校時と火曜日の3、4校時、3年生が火曜日の3、4校時と水曜日5校時という扱いとなっている。週時表上は新設当初と全学年同様な時数の確保を目指しているものの、行事や休日との兼ね合いで、実際の年間総時数は学年によって違いがある（表1参照）。

各指導内容取り扱いに関して着目すると、例えば、「調理」では新設当初の時数では1つの題材2hということで指導内容を配列しているが、昨年度と今年度の実際においては、実習で扱うメニューに関する栄養素や買い物等の学習の時間を確保した上で、調理実習を行う指導計画が多く、1つの題材の調理実習に3hで進め、当初の指導計画と取り扱いの違いがある。また、「生活知識」の学習においても、より体験的に、生徒が理解できるようにと授業作りをしてきた経緯のなかで、新設当初は1hで扱うように配列されていた内容も、2hで扱う指導内容も出てきた。

次に技能と生活知識の各々にかけている時間のバランスということに着目する。昨年度は、学部内での使用教室の調整の難しさもあり、例えば、現在の中2は昨年度「被服」に関する授業が極端に少ないなど、指導内容によってかけている時間の差が大きかった。この反省をふまえて今年度の指導計画を作成し、表のような時数になった。しかし、こうした取り組みの中で、各学級が実態と課題に応じて指導計画を立てる際、各内容を取り扱う時数も異なってくるという議論もあった。

これらの議論を経て、どんな実態の学級集団においても中学部段階で押さえたい指導内容の絞り込みと時数の配分について検討し、実態に対応して柔軟に各学年が指導計画を立てられるようにしていく必要があることを確認した。

表1 「くらし」の授業時数

	学 年	くらし (技能)			くらし (生活知識)	総時数
		調理	被服	住まい		
H14 年度作成 指導計画	1 年	2h×10回 (20h)	2h×5回 (10h)	2h×3回 (6h)	1h×14回 (14h) 2h×2回 (4h)	54 h
	2 年	2h×10回 (20h)	2h×5回 (10h)	2h×3回 (6h)	1h×14回 (14h) 2h×2回 (4h)	54 h
	3 年	2h×10回 (20h)	2h×4回 (8h)	2h×6回 (12h)	1h×14回 (14h) 2h×0回 (0h)	54 h
H21 年度当初 作成指導計画	1 年	1h×0回 (0h) 2h×4回 (8h)	1h×3回 (3h) 2h×5回 (10h)	1h×0回 (0h) 2h×3回 (6h)	1h×4回 (4h) 2h×4回 (8h)	39 h
	2 年	1h×4回 (4h) 2h×4回 (8h)	1h×3回 (3h) 2h×6回 (12h)	1h×0回 (0h) 2h×2回 (4h)	1h×9回 (9h) 2h×4回 (8h)	48 h
	3 年	1h×8回 (8h) 2h×8回 (16h)	1h×5回 (5h) 2h×4回 (8h)		1h×8回 (8h) 2h×4回 (8h)	53 h

### 3. 研究授業から見えてきた「指導計画」見直しの視点

技能（調理、被服）、生活知識に関しての授業研究会を行った。それぞれの授業研究会で議論された内容の抜粋は次の通りである。

#### 中1／被服の授業研究会より（授業日：6月23日、授業研究会：7月13日）

- 家庭でのお手伝いの実態のこともふまえ、授業を進めた。新設当初の指導計画では、お手伝い等、家族の中での役割については生活知識で取り扱うことになっていたが、中学部の生徒にとっては、別々ではなく繋げた展開でやった方がよいと思い設定した。
- 各学年でワークシートを作成し、使用している。生徒自身の振り返りと家庭との連携を図る為に必要。活動の写真をワークシートに貼りポートフォリオの形式をとったりもしている。このワークシートを共有していけないか。
- 洗濯の手順の教え方は高等部の手順の教え方とのすりあわせがもう一步必要と思われるが、中学部段階での家庭での経験をふまえた学習の進め方もあるのではないか。

#### 中1／調理の授業研究会より（授業日：7月4日、授業研究会：7月13日）

- 新設当初の指導計画では、栄養素は中2から扱うことになっているが、偏食の生徒への調理の授業での成果も期待し、「食育」の観点からも、中1から栄養のことを取り入れることは必要。栄養素の教え方は中・高で統一した方がよい。
- 各クラスに家庭でいくつかのメニューを一人で作っている生徒から、調理器具の扱い方を身につける段階の生徒までがいる。調理の実技的な課題差が大きい。新設当初の各学年の指導計画では現実的でない。各クラスの実態に合わせた展開例の蓄積・共有が必要。

#### 中2／生活知識の授業研究会より（授業日：10月26日、授業研究会：10月29日）

- 指導計画の見直し作業で明らかになった個別教育計画に関わる結果も考慮に入れ、人とのつきあい方に関する内容を生徒にわかりやすい題材名「中学生らしいマナー」として2h計画で扱い、1/2hは『プライベートとパブリックの区別』、2/2hは『人との距離の取り方』という観点から日常場面での生徒の課題を整理して取り上げた。
- 生活指導でも繰り返し指導されている内容を授業として取り上げる事での成果は、生徒の日常への定着の経過を見ていかなくは授業の評価ができない面がある。
- 教員がモデルとなった良い例と悪い例の写真教材を作成した。生徒の実際の場面を撮影したものを教材とするのは生徒自身の気持ちを考え避けるべきと判断した。
- 写真教材で生徒が何を注目すべきか明確にする工夫の余地があった。
- 翌日の連絡帳にて、7人中3人の生徒の保護者からの反響があり、家庭との具体的な課題の共有を確認できた。ワークシートを活用した成果が再確認出来た。

これらの授業研究会を経て、また共同研究者の助言も得て、以下の課題が確認された。

一つは「くらし」の授業における共通した準備物であるワークシートの在り方と共有化に向け、各学年が「くらし」で作成している略案とワークシートを集め、整理・検討していくことである。そして、もう一つは技能、特に『調理』においては、実際の各学年における展開例（略案とワークシート）を蓄積・共有化を図った上で、障害程度や経験してきたことの差が顕著な幾つかの事例について3年間の指導経過を検討していく必要があるということである。

### 4. 「くらし（生活知識）」の指導計画見直し

前述の略案とワークシートを学部内の教員で共有化していくとくみとして「くらし実践資料集」を作成していきながら、新設当初の「くらし（生活知識）」の指導計画を見直した。

まず、「2. 新設当初と平成21年度の『くらし』指導計画の比較から」で確かめた点をふまえ、学年毎に指導内容を配列するのではなく、どの実態の学級集団においても中学部3年間で押さえない指導内容の絞り込みを行うこととした。

実際には、①中学部教員各人が、新設当初の指導計画の各題材に対して、「必要な内容」「実態に応じ必要な内容」「技能にあわせて実施すべき」「どちらともいえない」という4つの何れかでチェックしたものを集計した結果と、②「個別教育計画(B)」における「くらし」に関わる『本人・家族の希望』の傾向、そして③各学年における平成21年度の指導計画をふまえ検討した。この結果、中学部3年間で押さえておきたい「生活知識」指導内容としては、18題材に絞られた。絞った18題材は表2の通りである。さらに「実態に応じて必要な指導内容」は7題材(表3)、「技能にあわせて実施すべき指導内容」は7題材(表4)であった。これらの題材については引き続き実践による検証が必要なものもあるが、すでにこれまでに実践してきた内容については「くらし実践資料集(資料2)」とも可能な限り対応させつつ、学部内の共通理解につなげるようにした。

表2 中学部3年間で押さえない生活知識の題材

	題材名	目標	生活支援内容配列表区分
1	身体の清潔と健康	○適切な手洗いの仕方を身につける。 ○身体を清潔にしようという気持ちをもつ。	健康・安全・性
2	成長するからだ (からだの名前)	○男女のからだの違いと部位名がわかる。 ○男女相互に認めあう気持ちをもつ。	健康・安全・性
3	成長するからだ(男子)	○二次性徴の変化としくみを知る。 ○二次性徴には個人差があることを知り、自分の身体の変化を受け止めようとする。	健康・安全・性
	成長するからだ(女子)		
4	生命誕生	○自分が生まれた時の事を知る。 ○命の大切さを考える。	健康・安全・性
5	人の一生～ライフサイクル～	○人の一生をおおまかにとらえられる。 ○もうすぐ進学することがわかる。(中3)	健康・安全・性
6	救急箱の中身	○身近な救急用品がわかる。 ○身近な救急用品の用途がわかる。	健康・安全・性
7	かんたんな傷の手当て	○軽い怪我・火傷の基礎的な処置の手順を知る。 ○自分で簡単な傷の手当てができる。	健康・安全・性
8	中学生らしいマナー (プライベートとパブリックの区別)	○行動するのに相応しい場所があることがわかる。 ○マナーを守って行動する気持ちを高める。	健康・安全・性 集団生活
9	中学生らしいマナー (人との距離の取り方)	○友だちと接する時のマナーを知る。 ○友だちと適切な関わり方をしようという気持ちをもつ。	健康・安全・性 集団生活
10	友だちの良いところ	○友だちの良いところを認め合う。 ○自分のよいところを知り、自己肯定感を高める。	健康・安全・性 集団生活
11	変な人についていかない	○変な人に声をかけられた時の対処法がわかる。 ○模擬場面で練習する。	健康・安全・性 地域生活
12	食品の賞味期限と消費期限	○賞味期限・消費期限について知る。	家庭生活



		○食品の適切な保存方法を知る。	経済生活
13	食品と栄養素	○3色食品食品群について知る。 ○バランス良く食べようという気持ちをもつ。	家庭生活
14	家の中の仕事	○家の中の仕事を知り、家族の役割を考える。 ○家庭で自分の役割を担う気持ちをもつ。	家庭生活
15	色々な標識や通学のマナー	○公共の場の主な標識がわかる。 ○通学時のマナーをしり、守ろうとする。	地域生活
16	ゴミの分別	○ゴミの分別の仕方を知る。 ○ゴミを捨てる際に分別しようという気持ちをもつ。	地域生活
17	リサイクル	○リサイクルできるものを知る。 ○リサイクルゴミの捨て方について知る。	地域生活
18	コンビニで買い物しよう	○ほしい品物の探し方がわかる。 ○ほしい品物をどこで買ったらいかがいかわかる。	家庭生活・地域生活 経済生活

表3 学級の実態に応じておさえない生活知識の題材

	題材名	目標	生活支援内容配列表区分
1	気温と衣服	○季節にあった服装ができる。(寒暖に対応) ○寒暖に合わせて上着の調節をする。	家庭生活
2	トイレのマナー	○正しいトイレの使い方ができる。 ○トイレを汚さずに用が足せる。	身近生活
3	食品衛生	○食中毒の原因が分かり、予防の基礎を知る。 ○かびた物、腐った物の見分け方がわかる。	家庭生活
4	薬の飲み方	○正しい薬の飲み方が分かる。 ○いやがらずに薬を飲むことができる。	健康・安全・性
5	好きな人ができたら	○異性への好意の伝え方を知る。 ○相手の気持ちを考えることができる。 ○好きになったときの適切な接し方を知る。	集団生活 健康・安全・性
6	恋愛と結婚	○結婚の年齢(法的な)を知る。 ○妊娠、出産、子育てについて知る。	健康・安全・性
7	生命誕生の仕組み (大切ないのち)	○結婚、妊娠、出産、STDについて知る。 ○命の大切さを考える。	健康・安全・性

表4 生活知識から技能でおさえることにする題材

	題材名	目標	技能の分野
1	洗濯用洗剤の種類と使い方	○用途や繊維に合った洗剤の選び方を知る。 ○表示された分量を使うことを知る。	被服
2	食品のカロリー	○カロリーの高い食品、低い食品を知る。 ○ダイエットについて考えられる。	調理
3	食品衛生(保存)	○冷蔵庫の利用の仕方がわかる。 ○保存食について知る。	調理

4	バランスのよい献立	○三大栄養素と30品目を知り、献立作りに役立てる。 ○好き嫌いなく食べようという気持ちを高める。	調理
5	色々な献立とバランスのよい食事	○和風、洋風、中華風等の違いが分かる。 ○カロリーの高い物、低い物がわかる。 ○好き嫌いなく食べようという気持ちを高める。	調理
6	住まいの洗剤の種類と使い方	○使う場所や用途に合わせた洗剤が分かる。 ○表示された方法で使うことを知る。	すまい
7	食品衛生（保存）	○冷蔵庫の利用の仕方や清掃の仕方がわかる。	調理 すまい

技能については、研究授業での議論もふまえ、今年度は実践例の蓄積を共有していくところまでとしている（資料2／くらし実践資料集）。表4の指導内容も含め、障害程度や経験差をふまえた中学部3年間の指導計画の在り方を継続して検討していく必要がある。

## 5. 「豊かな人間関係」につながる指導内容の検討と授業作り

### 1) 授業作りの題材

前述のように検討してきた生活知識の題材のうち、「中学生らしいマナー（人との距離の取り方）」を取り上げ、授業作りを行い、豊かな人間関係につながる指導内容の検討を行うこととした。

中学部になると、男女ともに二次性徴を迎え、からだつきの変化もそれぞれにはっきりと見られている。どの生徒にとっても、自分の体の変化を受け止め、年齢に相応しいマナーを獲得することは課題である。実際に、生徒たちは、中学生らしくしようという気持ちはもっているものの、人前で鼻くそをとったり、おなかやお尻をかく等、周囲を意識しないで行動してしまう生徒も多い。また、夢中になっている時に人を押しのけたり、並んで歩く時にもくつつきすぎたり、くつつかれてもそのままだったり、幼い頃のままの接し方で異性と接したり等、人と接する際の距離の取り方や接し方の課題も各学年それぞれに色々見られている。さらに、異性にあこがれたり、複数の異性から好意を寄せられて困ったりする姿もみられ、異性との関わり方、気持ちの表し方の課題が見られる生徒もいる。

個別教育計画作成時の「本人・家族の希望」においても、「人との関わり方やマナーを身に付けてほしい」等の希望が多く保護者からあげられており、保護者も子どもたちの課題をはっきりと意識している。

こうした生徒の実態と課題、および保護者の希望を踏まえ本題材での授業作りを行うこととした。

### 2) 授業作りに向けて

本題材は10月に中2で1回目の研究授業を行い、さらに、指導計画の見直しを行った経緯の中で、生徒の実態を踏まえ中1でも同題材を指導計画に加え研究授業を重ねた。

授業作りにおいては、「具体的な活動を学習活動の中に用意すること」を第一に考えた。その上で、授業で用いる教材は生徒の課題への対応のみならず、授業作りのコンセンサスの得やすさに通じる、作りやすさや教員間での共有のしやすさにも注目し、加えて家庭との連携の図りやすさにも考慮することとした。

### 3) 授業研究会から

中2での授業研究会の議論（Ⅲ. 3）を踏まえ、中1での授業研究会（資料1）につなげた。学

級を構成する生徒の実態と課題の違いから、取り上げる要素の扱い方は異なっているものの、本題材を「くらし（生活知識）」で取り上げていく上での授業作りについて議論し、主に以下のことを課題として挙げられた。

○学習活動において模擬場面を用意し具体的に進める有効性はある。しかし、その時には、さらに様々な実態の生徒、例えば、どう行動すべきかを良く理解できている生徒にとっての学習課題は何か、理解が難しい生徒にとっての学習課題は何かをもっと整理して場面を用意し展開することが必要である。

○ワークシートを実態と対応して2種類用意したことはよい。

○こうした内容の授業の場合、生徒が本時に何を学習するかをしっかりと理解した上で模擬場面での活動ができることが大切である。そうした意味で、生徒が理解し、意識しやすいキーワードを予め整理して授業の導入部分を展開することが必要である。

こうした授業改善に向けての事項は他の「くらし（生活知識）」の題材においても通じる大切な内容と考えた。

#### IV まとめと今後の課題

個別の教育的ニーズ支援システム（S I E N）に従って、中学部における「くらし」の指導計画を見直していく上での視点を整理し、実践資料の共有化を図りながら、今年度は「くらし（生活知識）」の精選を行った。実践資料は資料集としてまとめた。また、「くらし（生活知識）」は前述の表2～4のように、中学部3年間でおさえたい生活知識の18題材、学級の実態に応じておさえたい生活知識の7題材、生活知識から技能でおさえることにする7題材とし、各学年が実態に応じて指導計画を組めるようにした。さらに、こうして整理した題材の中から授業作りを行い、授業改善に向けての一定の視点を確認できた。しかしながら、指導内容で挙げた題材の妥当性や実践資料集としてまとめたものの有効性の検討は今後の授業実践の中で検証していく必要がある。さらに、「くらし（技能）」の題材の精選や、中学部と高等部の指導内容の段階性、系統性、妥当性等について検討していくための実践資料の蓄積についても十分とは言えない。

残された課題に引き続き取り組んでいながら授業作り、改善を行っていくことが大切と考えている。

#### V 引用・参考文献

- ・東京学芸大学附属特別支援学校研究紀要 No. 47（2002）
- ・東京学芸大学附属特別支援学校研究紀要 No. 48（2003）

## 【資料1】

### 中学部 生活支援 くらし（生活知識）学習指導案

日 時 平成22年1月29日（金） 10:10～11:00

対 象 中学部1年7名 男子4名 女子3名

場 所 中学部1年教室

指導者 MT野原隆弘 ST1中村昌宏 ST2鈴木笑実

#### 1. 題材名「中学生らしいマナー」

#### 2. 題材設定の理由

中学部1年生の生徒数は、男子が4名で女子が3名の7名で構成されている。学習課題に際しては、自分から積極的に取り組める生徒から個別に支援を必要とする生徒まで様々である。生徒は本校小学部より2名が進級し他校から5名を迎えた。今日まで約10ヶ月を経て少しずつ友だちに慣れ仲間関係が深まってきた。言葉のやりとりや受ける側のちょっとした気持ちのずれや関わり方の未熟さから言葉の行き違いに発展することもよくある。

また、夢中になっている時に人を押しのけたり、われ先にとタイムカードを押そうとすることや、座席等に座る時に密着しすぎたり、幼い頃のままの接し方で教員と接したりする等、人と接する際の距離の取り方や接し方の課題も多い。さらに、最近では、クラス外の友だちとも関わりが増え仲間関係の広がりもあり、遠く離れたところから相手が秘密にしたがっている話を大きな声でするなど、困った姿も時々みられるようになった。

そこで本題材では、一人ひとりの友人との関係の実態をもとに、各生徒が取り組む課題や内容を押さえ、学級の仲間と一緒に課題を共有していけるように考えた。人との関わり方やマナーは、学校生活の中でその場を捉えて相応しい行動のとり方等を繰り返し教える機会がある。こうした日常的な指導に加え、授業場面で生徒たちの日頃の課題を取り上げお互いに確認することは、小学生から中学生になったという環境の変化と精神的な面から集団性が育ちつつある現段階だからこそ、普段の生活に活かしていくきっかけとなると考えた。友だちの中での自分を考えることは、他人を気遣える姿勢等へつながり将来の社会生活で大切な要素となる。さらに、この学習を通して身近な友だち関係にも一定のルールやマナーがあることに気づいて欲しいと願いこの題材を設定した。

#### 3. 目標

- ①友だちと接する時のマナーを知る
- ②友だちと適切な関わり方をしようという気持ちを持つ

#### 4. 指導計画

- |               |                    |     |      |
|---------------|--------------------|-----|------|
| (1)中学生らしいマナーⅠ | (友だちとの関わり方 距離の取り方) | 1 h | (本時) |
| (2)中学生らしいマナーⅡ | (友だちの良いところを見つけよう)  | 1 h |      |

## 5. 本時の学習

### (1) 本時の目標

- ① 友だちと仲良くするためのルールを知る
- ② 仲良くするためのルールを守ろうという気持ちを持つ

(2) 準備物： ワークシート、名札、文字・絵カード、教材箱（タイムカード機・カード）、椅子7脚、テレビ他

### (3) 生徒の実態及び個人目標・手だて

	生徒の実態	個人目標	指導の手だて	関連する個別教育計画
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちが好きで積極的に関わろうとするが、友だちに伝えたいことがあると耳元近くで話す等相手と適切な距離が取れないことがある。</li> <li>・その都度指導されると納得するが、まだ身に付いておらず、同じことを繰り返す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人と接する時の適切な距離の取り方がわかる。</li> <li>・適切な距離のルールを守って友だちと関わる気持ちを持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な距離の取り方の見本を具体的に示す。</li> <li>・設定場面であまってきた経験を重ね、しっかり認める。</li> </ul>	自分の気持ちを表現し、適切に処理する。
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちと仲良くしたい気持ちはあるが適切な言い方や接し方ができないことがある。</li> <li>・わかっているがリラックスするとつい友だちの顔に触れるなど友だちのいやがる接し方をしてしまう時がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な言い方、接し方を確かめる。</li> <li>・適切な言い方、接し方で友だちと関わる気持ちを高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真カードや具体的な友だちの意見で理解に繋げる。</li> <li>・設定場面（並ぶ）であまに関われる経験を重ね、その都度しっかり認める。</li> </ul>	適切な人間関係を身に付けることができる。
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちが大好きだが手を引いたり、顔を撫でる等幼い関わり方もある。</li> <li>・友だちの中で注目されることを好み周囲の気を引こうと、活動からはずれたり、マナー違反をすることがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちとの適切な関わり方を知る。</li> <li>・マナーを守って友だちと一緒に行動しようという気持ちを高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な写真カードを提示し対比しながら確かめる。</li> <li>・設定場面（並ぶ）でリーダー的な役割を担えるようする。適切な行動をとっている姿をしっかり認める。</li> </ul>	良好な人間関係を作れる。

D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちに幼い関わり方をされても、そのままできていることがある。</li> <li>・クラスメートと楽しんで活動し、友だちの様子をじっくり見てから同じように活動することが多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不適切な関わり方をされた時の対応の仕方を知る。</li> <li>・設定場面で友だちのやっているようにしようとする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真カードで適否を示し具体的に意思を表現する機会を作る。</li> <li>・設定場面で適切に行動できるよう援助し活動を支える。</li> </ul>	友だちとの関わりを楽しむ。
E	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人に対して幼い関わり方をすることがまだあるが、自分に幼い関わり方をされると嫌な気持ちを表現することが増えてきた。</li> <li>・身体接触を伴う幼い関わり方がおかしいことは気がついている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不適切な関わり方をされた時の態度について確かめる。</li> <li>・設定場面で友だちと適切にかかわりながら活動する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真カードで適否を確かめた後で実際にやってみる。</li> <li>・友だちにもたれたりしないようロールプレイで適切に行動できるよう援助し、できたことをしっかり褒める。</li> </ul>	
F	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイムカードの順番を守れず友だちより先に押そうとすることがある。</li> <li>・友だちといっしょに過ごすことは好きだが、積極的に関わられることには苦手意識がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・順番を意識して待つことや友だちとの距離の取り方を知る。</li> <li>・順番を守って行動する気持ちを高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な方法を写真カードで確かめロールプレイでやってみる。</li> <li>・設定場面（タイムカード）でうまくできた経験を重ね、しっかり認める。</li> </ul>	学級の友だちにきちんと挨拶ができる。
G	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちへの思いが先行するあまり一方的な話し方をすることがある。</li> <li>・友だちと上手に関わろうという気持ちはもっているが、気持ちが通じないと途中から大声で関わることもある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の立場や状況について知る。</li> <li>・友だちの立場を考えて関わる気持ちを高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対比した例を具体的に示しどちらが良いか考えさせる。</li> <li>・設定場面（並ぶ）で適切に行動できている姿を認め友だちが喜んでいることに注目させる。</li> </ul>	適切な対人関係を身に付けることができる。

(2) 本時の展開

	学習活動	指導内容	留意点
10:10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶をする。</li> <li>・今日の学習について聞く。 (中学生らしいマナー)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始まりを意識する。</li> <li>・今日の学習内容をみんなで読んで確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間で始められるよう予め確認しておく。</li> <li>・文字カードや絵カードを貼る。</li> </ul>
10:15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスの中の友だちとの関わりで良かった事、悪かった事について聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスの中のマナーについて気づいたことを発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見が出ないときは、STが絵カードや簡単な動作でヒントを与える。</li> </ul>
10:20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲良しクイズをする</li> <li>    *タイムカードの場面</li> <li>    *友だちをさそう</li> <li>    *挨拶の写真</li> <li>    *みんなで移動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出てきた写真を見てどんな物か言う。 (物や場面カード等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの写真を一定のスピードで提示し、楽しい雰囲気での学習できるようにする。</li> </ul>
10:25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちとロールプレイをする</li> <li>    *朝の準備の場面 挨拶→タイムカード→着席</li> <li>    *みんなで移動の場面 日直の声→整列→移動→着席</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶やお互いの順番を意識して行動できる</li> <li>・教員の顔を見て挨拶する。</li> <li>・友だちと順番にタイムカードを押す。</li> <li>・友だちへ優しく声をかけ誘う</li> <li>・日直を交代してもできる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真カードを対比して示す。</li> <li>・適切に行動している姿をしっかりと認め、普段の生活に活かそうという気持ちにつなげる</li> <li>・適切に行えている姿をしっかりと認める。生徒同士の感想も取り上げる 生徒D、Eの気持ちはSTが仲介して他の生徒に伝えるようにする</li> </ul>
10:45	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを記入する。</li> <li>・今日のキーワード(中学生らしいマナー)を読む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートの写真を見て正しい方を選び確認する。</li> <li>・キーワードを読んで再確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の課題に応じた2種類のワークシートを用意する。</li> </ul>
10:55	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめを聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも今日のようにマナーが守れるよう確認しあう。</li> <li>・次回の内容を知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体や個人で確認する。 STは仲良くして楽しい中学生生活にしようという雰囲気を作る。</li> </ul>
11:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・終りのあいさつ。</li> </ul>		

(5) 評価 (省略)

(6)備考 (ワークシート)

ワークシート 1

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>中学生らしいマナー①</p> <p>しめい 氏名 <input style="width: 100px;" type="text"/></p> <p>がつ 月に 日 ( )</p> <p>【朝の挨拶】 正しいほうに○をつけましょう。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> </div> <p>【タイムカード】 正しいほうに○をつけましょう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> </div> <p>【友だちと挨拶】 正しいほうに○をつけましょう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【机の姿勢】 正しいほうに○をつけましょう。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> </div> <p>【並ぶ姿勢】 正しいほうに○をつけましょう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> </div> <p>【友だちへの話】 正しいほうに○をつけましょう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;今日の学習の感想&gt;</p> <p><input type="radio"/> よくわかった    <input type="radio"/> むずかしかった</p> <p><input type="radio"/> その他 [ <input style="width: 50px;" type="text"/> ]</p> </div>
---	---

ワークシート 2

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>中学生らしいマナー②</p> <p>しめい 氏名 <input style="width: 100px;" type="text"/></p> <p>がつ 月に 日 ( )</p> <p>【声のかけ方】 正しいほうに○をつけましょう。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> </div> <p>【さそい方】 正しいほうに○をつけましょう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> </div> <p>【さそい方】 正しいほうに○をつけましょう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【意見の言い方】 正しいほうに○をつけましょう。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> </div> <p>【並び方】 正しいほうに○をつけましょう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> </div> <p>【いすの並び方】 正しいほうに○をつけましょう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;今日の学習の感想&gt;</p> <p><input type="radio"/> よくわかった。    <input type="radio"/> むずかしかった</p> <p><input type="radio"/> その他 [ <input style="width: 50px;" type="text"/> ]</p> </div>
--	---



## 【資料2】実践資料集抜粋

### 生活知識「成長するからだ」

中学部 暮らし「生活知識」学習指導略案

1. 題材名 「成長するからだ」

2. 目標  
①体の部位名がわかり、男女の違いや共通点がわかる。  
②男女相互に認め合い、思いやる気持ちを持つ。

3. 展開

時間	学習活動	指導内容	留意点
5	学習の流れをきく。	学習に見通しをもつ。	振書をする。
20	男女別に模造紙にからだをなぞる。 男女別にからだの細部を書く。	各部位を意識しながら活動する。 成長を確かめながら書く。	同性の教員が男女それぞれの活動を共感的に援助する。
15	身体部位名を共表しあう。	いろいろな呼び方があることがわかる。 男女共通の体の呼び方と男女の体の違いがわかる。	いろいろな呼び方を認め合いながら正しい名称を確かめる。 ワークシートと同じ形式になるように生徒が書いた男女の体を黒板に貼り、名称を書く。 ききかたの部位名を言わないことを確認しながら、男女相互に認め合う雰囲気を作る。
10	ワークシートを記入する。	自分の体の成長と部位名を確かめる。	振書を手がかりにする。

4. 準備物  
人型のとれる大きさの模造紙2枚、デジカメ、マジック、マグネット、ワークシート

5. 評価

①体の部位名がわかり、男女の違いや共通点がわかる。 ②男女相互に認め合い、思いやる気持ちを持つ。		③興味関心をもって学習に取り組むことができたか。
○できた	△部分的にできた	一どちらともいえない
①	②	○ △ -
①	②	
①	②	
①	②	
①	②	
①	②	
①	②	

成長するからだ

月 日 ( ) 氏名

男性のからだ・女性のからだ

<今日の学習の感想>  
( ) よくわかった。 ( ) むずかしかった  
( ) その他 [ ]

### 生活知識「救急箱の中身と使い方」

中学部 暮らし「生活知識」学習指導略案

1. 題材名 「救急箱の中身と使い方」

2. 目標  
①軽い怪我、火傷の基本的な処置がわかる。  
②身近な救急用品がわかる。

3. 展開

時間	学習活動	指導内容	留意点
5	今日の学習の流れを聞く。	学習に見通しを持つ。	プリント1
25	救急箱の中身を見る。	名前と用途を知る。	一まず取り出して、プリント2と同じものをチェックする。 プリント3で確かめる。
20	用途に応じた薬などを選ぶ。	用途に応じた薬などの使い方が分かる。【かぜ（熱がある）のとき使うもの、おなかがいらいらしたとき使うもの、けがをしたとき使うもの】	
40	怪我の手当をやってみる。	怪我の手当の手順が分かる。	活動の様子をデジカメで撮り、振り返りに用いられるようにする。 プリント1
10	まとめ	今日の学習の振り返りをする。	

4. 準備物 プリント1、2、3、教材プリント、救急箱、デジカメ

5. 評価

①軽い怪我、火傷の基本的な処置がわかる。 ②身近な救急用品がわかる。		③興味・関心を持って学習に取り組むことができたか。
○できた	△部分的にできた	一どちらともいえない
		○ △ -

プリント1

救急箱の中身

月 日 氏名


1. 救急箱の中身を調べよう





















2. 使い方を知らう

あとで写真をはろう。

<今日の学習の感想>  
( ) よくわかった ( ) むずかしかった  
その他 [ ]

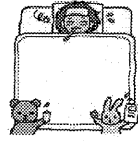
2. リンゴ




救急箱の中身を調べよう   
入っていたものにチェックをつけてください。

体温計		消毒用アルコール	
はさみ		消毒薬	
ピンセット		目薬	
毛抜き		湿布薬	
紙バン		軟膏	
ばんそうこう		風邪薬	
包帯		解熱薬	
三角巾		整腸剤	
綿棒		胃薬	
ガーゼ		よいどめ薬	

2. リンゴ つかいかたを <sup>し</sup>知ろう



かぜ(ねつ)があ



- 体温計 
- かぜ薬 
- げねつ剤 





けがをしたと



- しょうどく 
- ばんそうこう 

おなかがいたい



- ガーゼ、ほうたい、紙バン   
- 整腸剤 

生活知識「中学生らしいマナー①」  
(プライベートとパブリックの区別)

中学部 暮らし「生活知識」学習指導略案  
1. 題材名「中学生らしいマナー①」(プライベートとパブリックの区別)

2. 目標  
① 日常生活場における適切な行動の仕方がわかる。  
② マナーを身に付け、中学生らしく振る舞おうという気持ちが高める。

3. 展開

時間	学習活動	指導内容	留意点
5	・本時の学習について聞く。	・「中学生らしいマナー」について学習することがわかる。	・「すてきな中学生」「カッコいい中学生」という言葉をキーワードにし、無敵に行動しようという気持ちが高められるようにする。
25	・適切な行動の仕方の写真を選ぶ。 ・自分が銷挫や着替をする場所を選ぶ。 ・身振いをするに相応しい場所を選ぶ。 ・好感もてる態度、動を選ぶ。	・適切な行動の仕方がわかる。 ・性別によって場所が決まっていることに気付く。 ・人前でない行為があることを確かめる。 ・人前での相応しいマナーがあることを確かめる。	・写真カードを提示して見比べられるようにする。
10	・適切な行動の仕方でやっ、お互い見合う。 ・姿勢、挨拶	・普段の生活でも適切にやろうという気持ちが高める。	・良いところをしっかりと認める ・写真カード作り、良いところを写真に撮る。
10	・ワークシートを記入する。 ・次時「友だちの接する時のマナー」について学習することを聞く。	・本時を振り返る。 ・次時の予定を知り、期待を持つ。	・ワークシートの手がかりになるよう振替する。写真もワークシートに貼る。 ・「すてきな中学生」を目指す気持ちに働きかけるように話す。

4. 準備物 写真教材、O×カード、デジカメ、ワークシート

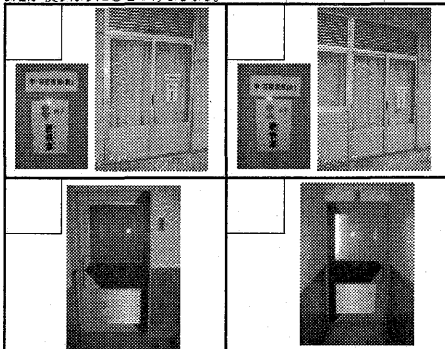
5. 評価

①日常生活場における適切な行動の仕方がわかる。 ②マナーを身に付け、中学生らしく振る舞おうという気持ちが高める。	○興味関心をもって学習に臨むことができたか。
○できた △部分的にできた ×どちらともいえない	○ △
①	②
①	②
①	②
①	②
①	②
①	②

中学生らしいマナー①

月 日 ( ) 氏名

あなたが使うほうに○をつけましょう。



【身づくろい】正しいほうに○をつけましょう。



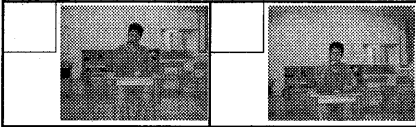
【鼻がムズムズ】正しいほうに○をつけましょう。



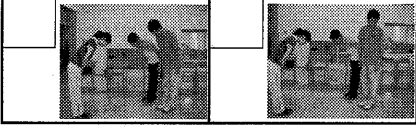
# 生活知識「中学生らしいマナー②」

## (人との距離の取り方)

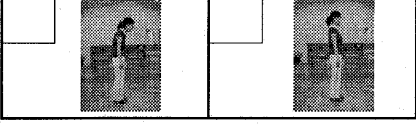
【食べ方】正しいほうに○をつけましょう。




【挨拶】正しいほうに○をつけましょう。



【姿勢】正しいほうに○をつけましょう。



【姿勢】正しいほうに○をつけましょう。



<今日の学習の感想>

( ) よくわかった。 ( ) むずかしかった

( ) その他 [ ]

中学部 くらじ「生活知識」学習指導要案  
1. 題材名「中学生らしいマナー②」(人との距離の取り方)

2. 目標 ①友だちと接する時のマナーを知る。  
②友だちと適切な間わり方をしようとする気持ちをもつ。

3. 展開

時間	学習活動	指導内容	留意点
5	・本時の学習について聞く。	・「中学生らしいマナー」について学習することがわかる。	・「得意な中学生」「かっこいい中学生」という言葉をキーワードにし、素直に行動しようという気持ちが高められるようにする。
35	・適切な接し方、不適切な振る舞いの写真を○×ボードに区別して貼る。 ・並の方 ・座り方 ・話し方等 ・手洗いの時の並の方を実際やってみる。	・友だちとの距離の取り方や、異性への振る舞い方を知る。 ・学習したことをふまえて、行動しようとする。	・具体的に、個々の課題に応じて身に付いたやりとりの仕方についても取り上げながら進める。 ・手でんぶのりを付け、手洗いの必然性を作り行う。予め、お互いマナーに気を付けるよう言葉掛けをする。S Tはビデオで観る。 ・注目させたい箇所ではビデオをとめる。
10	・ワークシートを記入する。	・行動したことを振り返る。 ・適切な行動、不適切な行動がわかり、普段の生活でも適切にやろうという気持ちが高める。	・悪いところをしっかりと認め合う雰囲気を作る。 ・個々に気を付けて欲しいポイントをワークシートで確認する。

4. 準備物 写真教材、○×カード、ビデオ、テレビ、ワークシート


5. 評価

	①友だちと接する時のマナーを知る。 ②友だちと適切な間わり方をしようとする気持ちをもつ ○できた △部分的にできた - どちらともいえない	◎興味関心をもって学習に臨むことができたか ○ △ -
①	◎	
②	◎	
③	◎	
④	◎	
⑤	◎	
⑥	◎	
⑦	◎	

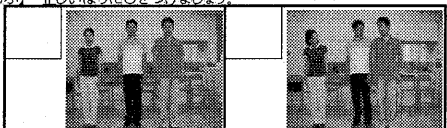
中学生らしいマナー②

月 日 ( ) 氏名


【座る】正しいほうに○をつけましょう。




【ならぶ】正しいほうに○をつけましょう。



【ならぶ】正しいほうに○をつけましょう。



【ならぶ】正しいほうに○をつけましょう。




<今日の学習の感想>


( ) よくわかった。 ( ) むずかしかった

( ) その他 [ ]


【さそう】正しいほうに○をつけましょう。



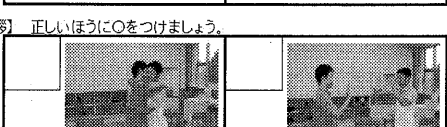
【さそう】正しいほうに○をつけましょう。



【見せて】正しいほうに○をつけましょう。



【挨拶】正しいほうに○をつけましょう。



<今日の学習の感想>

( ) よくわかった。 ( ) むずかしかった

( ) その他 [ ]

生活知識「変な人についていかない」

中学部 くらし「生活知識」学習指導略案

1. 題材名「変な人についていかない」

2. 目標

- 変な人に声をかけられた時の対処法がわかる。
- 模擬場面で練習する。
  - ①大きな声で「いや」と言える
  - ②その場から逃げるができる
  - ③家の人に報告ができる

3. 展開

時間	学習活動	指導内容	留意点
10	・どんな人が変な人か発言し合う。	・どんな人が変な人かを考える。	・練習し、後で確認できるようワークシートにも記入できるようにする。
10	・変な人から身を守るために、大切な事を通して合う。 ①大きな声で「いや」という。 ②逃げる。 ③家の人に報告する。	・身を守るためのポイントがわかる。	・キーワードの文字カードで繰り返し確かめる。
25	・模擬場面でやってみる ロールプレイを見ている生徒は、やり方の通言を考えて○×カードで意見を出す。	・ロールプレイで適切な対応ができる。 ・みている生徒はやってる生徒の通言がわかる。	・模擬場面の設定は、学校一軒一自宅とし、全員がイメージが持てるように掲示物等を示す。 ・活動の様子をデジカメで撮り、学習のふり返りに用いられるようにする。
5	・ワークシートにロールプレイの自己評価をする。 ・教員の評価を聞く。 ・大切な3つのスキルを確認する。	・本時をふり返る。	・自己評価部委員の評価が違ふ場合は本人が具体的に何を改善すべきかを丁寧に伝える。

4. 準備物

場面用掲示物、キーワードの文字カード(①~③)、○×カード、マグネット、デジカメ

5. 評価  
自己防衛スキル評価

	大きな声で嫌という		逃げる		家の人に報告する	
	できる	できない	できる	できない	できる	できない
	○	△	○	△	○	△
	○	△	○	△	○	△
	○	△	○	△	○	△
	○	△	○	△	○	△
	○	△	○	△	○	△
	○	△	○	△	○	△
	○	△	○	△	○	△
	○	△	○	△	○	△
	○	△	○	△	○	△
	○	△	○	△	○	△

生活知識「食品と栄養素」

変な人についていかない

月 日 ( )

氏名



変な人についていかない

「変な人って」・・・どんな人?  
 ・わたしをずっと じろじろ見ている人。  
 ・わたしをしつこくさそう人  
 ・ものをあげるから ついておいでという人  
 ・からだに さわって なれなれしい人  
 ・くるまに のせようと しつこくさそう人



大切なこと ①大きな声でいやという  
 ②逃げる  
 ③家の人に報告する

<今日の学習の感想/練習でうまくできましたか?>

①大きな声でいやという

( うまくできた、 がんばった、 むずかしかった )

②逃げる

( うまくできた、 がんばった、 むずかしかった )

③家の人に報告する

( うまくできた、 がんばった、 むずかしかった )

学校から家庭へ(教員の評価)この学習は、閉鎖をおいて繰り返し確認・練習することが有効と書かれています。折々にご家庭でもご確認下さい。

①大きな声でいやという (できた、 閉鎖的行動で可、どちらともいえない、 わかっているようだが行動せず、できない)

②逃げる (できた、 閉鎖的行動で可、どちらともいえない、 わかっているようだが行動せず、できない)

③家の人に報告する (できた、 閉鎖的行動で可、どちらともいえない、 わかっているようだが行動せず、できない)

中学部 くらし「生活知識」学習指導略案

1. 題材名「食品と栄養素」

2. 目標

- ①からだをつくる栄養素の働きを知る。
- ②栄養素をバランスよく取れる食事をしようという気持ちを高める。

3. 展開

時間	学習活動	指導内容	留意点
15	・栄養素とその働きについて知っていることを話し合う。	・食品によって多く含まれる栄養素があることに気付く。 ・栄養素と主な働きについて知る。	・生徒の発言を取り上げながら、絵カード、文字カードを使って栄養素と主な働きについて整理して提示する。
30	・身近な食品の栄養素を選ぶ。 ・栄養素の分類表をみて確かめる。 ・ワークシートに食品の栄養素を分類する。	・身近な食品を栄養素ごとに分類する。 ・身近な食品に多く含まれている栄養素を知る。 ・身近な食品の栄養素がわかる。	・食品の絵カードを多く含まれる栄養素ごとに分類する。繰り返し行い、覚えられるようにする。 ・ワークシートの手がかりになるよう練習する。
5	・ワークシートを記入する。	・本時を振り返る。	

4. 準備物

栄養素文字カード、食品カード、ワークシート、食品シール、デジカメ

5. 評価

	①からだをつくる栄養素の働きを知る。		②栄養素をバランスよく取れる食事をしようという気持ちを高める。	
	○	△	○	△
	○	△	○	△
	○	△	○	△
	○	△	○	△
	○	△	○	△
	○	△	○	△
	○	△	○	△
	○	△	○	△
	○	△	○	△
	○	△	○	△

食品と栄養素

月 日 ( ) 氏名

いろいろな栄養素 (三色食品群)

赤 からだをつくる	緑 からだの調子をととのえる	黄 熱や力になる

赤 からだをつくる たんぱく質 無機質	緑 からだの調子をととのえる ビタミン	黄 熱や力になる 炭水化物 脂質

<今日の学習の感想>  
 よくわかった。  むずかしかった  
 その他 [ ]

生活知識「ゴミの分別」

中学部 くらし「生活知識」学習指導略案

1. 題材名 「ゴミの分別」
2. 目標
  - ①ごみを分別することを知る。
  - ②紙パック、ペットボトルの出し方を知る。

3. 展開

時間	学習活動	指導内容	留意点
5	今日の学習の話を聞く。	学習の見通しをもつ。	プリント1を使用する。
5	黒板の分別表を見てゴミの分別をする。	ゴミの分別を知る。	プリント2を使用する。
10	ワークシートでゴミのカットを分類する。	ゴミの分別がわかる。	難しい生徒には分別表を手がかりにさせる。
25	紙パック、ペットボトルの出し方の説明をきく。 紙パック、ペットボトルの出し方を練習する。	紙パック、ペットボトルの出し方がわかる。 紙パック、ペットボトルのゴミ出し手順がわかる。	プリント3を見せ、説明する。 デジカメで活動の様子を撮り、ふり返りで用いられるようにする。
5	まとめ		プリント1を使用する。

4. 準備物 プリント1、2、3、ゴミのカット、ごみ箱3、ペットボトル8、紙パック4、はさみ、デジカメ

5. 評価

①ゴミの分別を知ることができたか。	○ 興味・関心を持って学習に臨むことができたか。
②紙パック、ペットボトルの出し方を知ることができたか。	○ △ -
○できた △部分的にできた -どちらともいえない	

ごみの分別

プリント1

月 日 ( ) 氏名

1 やってみよう -ごみを分別しよう-

2 やってみよう  
紙パック、ペットボトルをごみに出そう-

プリント3

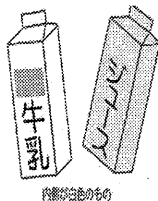
<今日の学習の感想>  
 よくわかった  むずかしかった

その他 [ ]

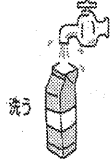
調理「バランスの良い食事を作ろう①」  
(マーボー豆腐定食)

プリント3

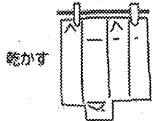
○紙パックの出し方



洗剤は使わない



洗う



乾かす

○ペットボトルの出し方



ラベル・  
キャップは  
プラごみへ

軽く水洗い

中学部 暮らし 「調理」 学習指導案

1. 題材名 「バランスの良い食事を作ろう①」(マーボー豆腐定食)

2. 目標

① 主食、汁物、主菜、副菜から成る定食を作る

② バランスの良い食事について理解を深める

3. 展開

時間	学習活動	指導内容	指導上の留意点
5	・身支度をする。 ・今日の状況、担当料理を聞く。	学習の始まりを意識する ・予定を知る ・予定と担当する料理を知る	・MT:ホワイトボードに座席を記入する。 ・MT:ホワイトボードにメニューを貼る。
8	グループごとに調理する。 ・1グループ(マーボー豆腐) ・2グループ(中華スープ) ・3グループ(ご飯、中華クラゲとレタスのサラダ)	・パッケージに書かれているレシピを見て料理を作る ・教員と工程や道具の使い方を確認しながら料理を作る	・各グループは生徒ができるだけ自分で進めていけるよう支援する。
4	・試食	・主食、汁物、主菜、副菜を確認する	・楽しい雰囲気でお食事ができるようにする。
3	・使用した食器類を片付ける	・洗い残し、すすぎ残しがないか確認しながら片付ける	・予め洗い方のポイントを生徒の実態に応じて伝える。
5	・次回の調理実習について説明を聞く。	・次回の献立を知り、期待を高める。	

4. 準備物

●調理器具(フライパン4、片手なべ2、お玉杓、フライ返し4、菜箸4、包丁3、まな板3、ざる8、ボウル8、お椀2、炊飯器2、計量スプーン1、計量カップ5)

●食器類(茶碗、お椀、水皿、小鉢、はし、香ばし、フォーク、スプーン)

●材料(米9g、レタス2玉、中華くらげ2パック、卵8個、鶏からスープの素大さじ3、塩、こしょう、豆腐6丁、マーボー豆腐の素8箱)

5. 評価

	①バランスの良い食事について理解を深める ②主食、汁物、主菜、副菜から成る定食を作る	③興味関心をもって学習に臨むことができたか
	○できた △部分的にできた □どちらともいえない	○ △ □
①	○	○
②	○	○
③	○	○
④	○	○
⑤	○	○
⑥	○	○

バランスの良い食事を作ろう①  
マーボー豆腐定食

月 日( )



中華(ちゅうか)くらげとレタスのサラダ

①材料：12人分

1 中華くらげ	2パック	
2 レタス	1玉	

②道具

ボウル	ざる	さいぼし	てぶくろ

③作り方

1	レタスをあらう	
2	レタスをちぎり、ボウルに入れる	
3	ボウルに中華くらげを入れる	
4	混ぜる	

バランスの良い食事を作ろう①  
マーボー豆腐定食

月 日( )



中華(ちゅうか)スープ

①材料：6人分

えのき	鶏(むね)から スープのもと	たまご	みず	しお・こしょう
1パック	大さじ1.5	4こ	900ml	きこし

②道具

ボウル	ざる	さいぼし	竹ひょうスプーン	おたま
竹ひょうスプーン	かたておべ	まゆいば	ぼうちょう	










調理「バランスの良い食事を作ろう②」

(さばの味噌煮定食)

バランスの良い食事をつくろう1  
マーボー豆腐定食

月 日( )

①作り方

1	えのきのねもとを切る	
2	えのきをさく	
3	かたてなべに入れる	
4	水を入れてにる	
5	鶏がらスープのもとを入れる	
6	たまごをどく	
7	なべに入れる	
8	かきまぜる	
9	しお・こしょうをする	

中学部 くらし「調理」 学習指導略案

1. 題材名 「バランスの良い食事を作ろう②」(さばの味噌煮定食)

2. 目標

- ①主食、汁物、主菜、副菜から成る定食を作る。
- ②バランスの良い食事について理解を深める。

3. 展開

時間	学習活動	指導内容	指導上の留意点
5	今日の予定を確認する	予定を知る	・MT:ホワイトボードに座席を記入
10	今日の献立、担当料理を確認する	担当する料理を知る	・MT:ホワイトボードにメニューをはる
80	グループごとに調理 ・1グループ(さばの味噌煮) ・2グループ(みそ汁) ・3グループ(ご飯、酢の物)	・レシピ本を見て料理を作る ・教員と工程や道具の使い方を確認しながら料理を作る	・各グループは生徒がそれぞれ自分で作業できるように配慮する。
40	試食	・主食、汁物、主菜、副菜を確認する	
30		・洗い残し、すすぎ残しがないか確認しながら片付ける	
5	使用した食器類を片付ける	・次回の献立を知る	

4. 準備物

- 調理器具(フライパン3、片手なべ2、お玉杓、フライ返し3、菜箸2、包丁4、まな板4、ざる4、ボウル4、炊飯器2、計量スプーン7、計量カップ4、ピーラー、スライサー、泡立て器、味噌こし器)
- 食器類(茶碗、お椀、大皿、小鉢、はし各10、フォーク、スプーン)
- 材料(米8合、きゅうり6本、カットわかめ200g、酢、塩、砂糖、大根1/2、しめじ2パック、みそ、さば10切れ、しょうが、料理酒、みりん、しょうゆ、炊き込みご飯のもと)

5. 評価

①バランスの良い食事について理解を深める	○興味関心をもって学習に臨むことができたか
②主食、汁物、主菜、副菜から成る定食を作る	○
○できた	△部分的にできた
○	△
○	△
○	△
○	△





バランスの良い食事をつくろう2  
さばの味噌煮定食

月 日( )






大根としじみのみそ汁

①材料：12人分

			
だいこん 1/2根	しめじ 2パック	みそ 大さじ12	みず 10カップ


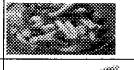


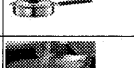




②器具

				
ボウル	ざる	さいばし	汁いれようすてん	おたま
				
汁いれようカップ	かたてなべ	きりばし	ほうちょう	あわだてこ
				
ピーラー	みそこし器			

バランスの良い食事をつくろう2  
さばの味噌煮定食

月 日( )

①作り方

1	しめじのねもとを切る	
2	しめじをさく	
3	だいごんのかをむく	
4	だいごんを切る	
5	かたてなべにいれる	
6	水(みず)をいれてにる	
7	ふっとうしたら弱火にする	
8	みぞを入れる	
9	火をとめる	

バランスの良い食事をつくろう2  
さばの味噌煮定食

月 日 ( )  
さやうりとかかめの酢の粉



①材料：12人分

さやうり 6ぼん	わかめ 200グラム	味噌 大さじ12	さとう 大さじ9	しお 小さじ3

②道具

ボウル	ざる	さいばし	てらこや
計りようスプーン	スライサー	ぼうちよう	味噌いた

バランスの良い食事をつくろう2  
さばの味噌煮定食

月 日 ( )

③作り方

1	わかめを水でもどす	
2	さやうりをあらう	
3	さやうりをスライサーで切る	
4	わかめの水をきる	
5	す・さとう・しおをまぜる	
6	さやうり、わかめ、⑤をまぜる	

調理「お好み焼きを作ろう」

中学部 くらし「調理」学習指導略案

1. 題材名「お好み焼きを作ろう」

2 目標

- ① お好み焼きの作り方を知る
- ② お好み焼きを焼く体験をする

3. 展開

時間	学習活動	指導内容	指導上の留意点
5	・身支度をする。	・学習の始まりを意識する。	・MT：ホワイトボードに座席を記入
10	・今日の予定を確認する ・今日の献立、担当を確認する	・予定を知る。 ・献立、担当を知る。	・MT：ホワイトボードにメニューをはる
80	グループごとに調理 ・3グループに分かれ調理する。	・手順表やパッケージの裏に書かれている作り方をよく見て調理を行う。	・ホットプレート使用時にやけどをしないようには注意する ・各グループでは、生徒がそれぞれ自分で取り組めるよう配慮する。
40	・試食		
25	・使用した食器類を片付ける。	・洗い残し、すすぎ残しがないか確認しながら片付ける。	・洗い残し等に十分気をつけるよう促す。
10	・次回の調理実習について説明を聞く。	・次回の献立を知る。	

4. 準備物

- 調理器具(ボウル3、ざる3、さいばし3、包丁3、まな板3、泡立て器3、計量カップ3、フライ返し3、ホットプレート3、電子レンジ)
- 食器類(大皿15、フォーク15)
- 材料(お好み焼きの粉3袋、お好み焼きソース2本、キャベツ2玉、豚肉600g、卵6個、かつおぶし2パック、マヨネーズ1本、水540ml)

5. 評価

①	お好み焼きの作り方を知る	○興味関心をもって学習に臨むことができたか
②	お好み焼きを焼く体験をする	○できた △部分前にはできた ーどちらともいえない
①	②	
①	②	
①	②	
①	②	
①	②	

お好み焼きづくり

月 日 ( )

①材料：4人分

お好み焼きの粉 1袋(400g)	お好み焼きソース 2本	キャベツ 1/2玉	豚だく 200グラム
たまご 2こ	かつおぶし すこし	マヨネーズ すこし	みず 180ml

②道具

ボウル	さいばし	ぼうちよう	味噌いた
ざる	あわだてき	計りようカップ	ホットプレート
フライ返し			



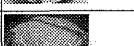










調理「けんちんうどん定食を作ろう①」

お好み焼きづくり

月 日 ( )

①作り方

1	お好み焼きの粉をボウルに入れる	
2	180mlの水を入れる	
3	混ぜる	
4	キャベツをあらう	
5	キャベツを切る	
6	ボウルに入れる	
7	たまごを入れる	
8	糊いたぶたにくをボウルに入れる	
9	混ぜる	
10	ホットプレートで焼く	
11	ひっくりかえす	
12	5分焼く	

中学部 くらし「調理」学習指導略案  
1. 題材名 けんちんうどん定食を作ろう①・・・1/3h

2. 目標  
①けんちんうどん定食の栄養素が分かる。  
②収支を理解して、分担の買い物をする。

3. 展開

時間	学習活動	指導内容	留意点
10	・多く含まれる栄養素のグループに材料の写真カードを分類する。 ・ワークシートを記入する。	・材料に多く含まれる栄養素が分かる。	・交代で分類する。 見ている生徒は適否を確かめる。
5	・買い物の分担を聞く。	・自分の分担が分かる。	・写真カードで分担の材料を分かりやすくする。 ・実態に応じて持たせる金額を決める。
25	・買い物をする。	・自分の分担の材料を選択する。 ・レジでお金を払う。	・実態に応じて、できる生徒は一人で買い物をする。また、補助が必要な生徒には教員が援助する。 ・デジカメで写真を撮り、振り返りで使えるようにする。
10	・ワークシートに預かったお金と使ったお金、残金を記入する。 ・本時の感想を書く。	・収支がわかる。 ・本時の振り返りをする。	

4. 準備物：ワークシート、材料カード、お金、デジカメ、空の財布（生徒各自）

5. 評価

①けんちんうどん定食の栄養素が分かる。 ②収支を理解して、分担の買い物をする。	③興味関心をもって学習に臨むことができたか。
○できた △部分でできた 〇どころでもない	○ △ 〇
①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	

けんちんうどん定食

月 日 ( )

氏名

材料と栄養

材料名	たんぱく質	脂質	糖質	ビタミン	無機質	炭水化物	脂質
うどんのめん	たんぱく質	無機質	ビタミン	炭水化物	脂質		
さといも	たんぱく質	無機質	ビタミン	炭水化物	脂質		
だいこん	たんぱく質	無機質	ビタミン	炭水化物	脂質		
にんじん	たんぱく質	無機質	ビタミン	炭水化物	脂質		
こんにゃく	たんぱく質	無機質	ビタミン	炭水化物	脂質		
あぶらあげ	たんぱく質	無機質	ビタミン	炭水化物	脂質		
ねぎ	たんぱく質	無機質	ビタミン	炭水化物	脂質		
ぶた肉	たんぱく質	無機質	ビタミン	炭水化物	脂質		
めんつゆ	たんぱく質	無機質	ビタミン	炭水化物	脂質		
りんご	たんぱく質	無機質	ビタミン	炭水化物	脂質		
もずく	たんぱく質	無機質	ビタミン	炭水化物	脂質		
きゅうり	たんぱく質	無機質	ビタミン	炭水化物	脂質		

材料の買い物

買い物の分担	あずかったお金 (収入)	つかったお金 (支出)	のこりのお金 (残高)

<今日の学習の感想>  
( ) おもしろかった。  
( ) がんばった。( ) むずかしかった  
( ) その他 [ ]

中学部 くらし「調理」学習指導略案  
1. 題材名 けんちんうどん定食を作ろう①・・・1/3h

2. 目標  
①けんちんうどん定食の栄養素が分かる。  
②収支を理解して、分担の買い物をする。

3. 展開

時間	学習活動	指導内容	留意点
10	・多く含まれる栄養素のグループに材料の写真カードを分類する。 ・ワークシートを記入する。	・材料に多く含まれる栄養素が分かる。	・交代で分類する。 見ている生徒は適否を確かめる。
5	・買い物の分担を聞く。	・自分の分担が分かる。	・写真カードで分担の材料を分かりやすくする。 ・実態に応じて持たせる金額を決める。
25	・買い物をする。	・自分の分担の材料を選択する。 ・レジでお金を払う。	・実態に応じて、できる生徒は一人で買い物をする。また、補助が必要な生徒には教員が援助する。 ・デジカメで写真を撮り、振り返りで使えるようにする。
10	・ワークシートに預かったお金と使ったお金、残金を記入する。 ・本時の感想を書く。	・収支がわかる。 ・本時の振り返りをする。	

4. 準備物：ワークシート、材料カード、お金、デジカメ、空の財布（生徒各自）

5. 評価

①けんちんうどん定食の栄養素が分かる。 ②収支を理解して、分担の買い物をする。	③興味関心をもって学習に臨むことができたか。
○できた △部分でできた 〇どころでもない	○ △ 〇
①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	

けんちんうどん定食

月 日 ( )

氏名

けんちんうどんを作ろう

1		道具と材料をそろえる <input type="checkbox"/> うどんのめん <input type="checkbox"/> めんつゆ <input type="checkbox"/> ほうとう <input type="checkbox"/> うどんボリ <input type="checkbox"/> おたま <input type="checkbox"/> おたまこ <input type="checkbox"/> ボール <input type="checkbox"/> ざる
2		おなじくらい大きさに野菜とこんにゃく、あぶらあげを切る。
3		たべやすい おおきさに切る 肉を切る。
4		なべにサラダ油を少し入れ、コンロの火をつける。 切った肉と野菜をいれ、いためる。
5		3人分は3杯 肉の色が変わったら、どんぶりでお湯をはかって入れる。
6		肉とやさいがにえたら、めんつゆであじつけをする。 (あじみをする)
7		うどんをゆで、ざるでお湯をきる。
8		もりつける。 ①めんを入れる ②つゆをかける

酢の物を作ろう

1		道具と材料をそろえる <input type="checkbox"/> ほうとう <input type="checkbox"/> ほうとう <input type="checkbox"/> ボール <input type="checkbox"/> さいばし
2		きゅうりをあらひ、包丁で切る。
3		もずくとまぜる。
4		もりつける。

りんごの皮むきをしよう

1		道具と材料をそろえる <input type="checkbox"/> まいたち <input type="checkbox"/> ほうとう <input type="checkbox"/> ボール
2		塩水を作る
3		4つに切る
4		しんをとる
5		かわをむく (むいたら、塩水につけておく)

<今日の学習の感想>【きょうの担当/けんちんうどん すのもの りんご】  
 ( ) おもしろかった。  
 ( ) がんばった。( ) むずかしかった  
 ( ) その他 [ ]

被服「アイロンがけをしよう」

中学部 暮らし「被服」学習指導略案

- 題材名 アイロンがけをしよう
- 目標
  - ①アイロンの操作の仕方がわかる。
  - ②平面なものしわがはせる。
- 展開

時間	学習活動	指導内容	留意点
5	アイロンがけの仕方を見る。	アイロンがけの仕方がわかる。	アイロンの扱い方、アイロンがけの手順がわかるようモデルを見せる
15	1人ずつやってみる。 友だちがやるのを見る。	手順を確かめる。 手順を繰り返し確かめようとする。	手順を認識できるように言葉がけをする。 友だちがやるのを見てO×カードで意見を言う。
25	繰り返し交代でやってみる。	アイロンの扱いに慣れる。	2台のアイロンをセットし、男女が交代で行う。 デジタルで撮った写真を後で振り返りに使えるようにする。
5	本時の感想をワークに書く。	本時を振り返る。	

4. 準備物 アイロン、アイロン台、ハンカチ、ランチョンマット、デジカメ、ワーク

5. 評価

氏名	①アイロンの操作の仕方がわかる。 ②平面なものしわがはせる	◎興味関心をもって学習に取り組むことができたか。
	○できた △部分別 못했다 一どちともいえない	○ △ -
	① ②	
	① ②	
	① ②	
	① ②	
	① ②	
	① ②	

アイロンがけ

氏名

月 日 ( )

ハンカチやランチョンマットにアイロンがけをしよう

使うもの

手順	できたかな?
1. アイロン台とアイロンを準備する。	
2. コンセントにアイロンのプラグを差し込む。	
3. 温度の調節をする。	
4. あたたまってきたことを確認する。	
5. アイロンをかける。	
6. たたむ。	
7. 後片付けをする。	

あとで写真をはろう。

<今日の学習の感想>

( ) かんたんだった。( ) むずかしかった  
 ( ) がんばった。  
 ( ) その他 [ ]

# 被服「洗濯機を使って洗濯してみよう」

中学部 くらし「被服」学習指導略案

1. 題材名 洗濯機で洗濯してみよう。

2. 目標  
①洗濯の手順を知る。  
②洗剤の種類と使い方を知る。

3. 展開

時間	学習活動	指導内容	留意点
10	・洗濯機を使った洗濯の手順を聞く。	・洗濯機を使った洗濯の手順がわかる。	・ワークシートを確認する。
10	・洗濯機を操作してみる。	・洗濯機の使い方がわかる。	・くらしの学習室で順番に操作してみる。 ・活動の様子をデジカメで撮り、振り返りに使えるようにする。
10	洗濯中 ・色々な洗剤の種類と使い方を知る。	・洗剤の種類と使い方がわかる。	・家庭で使っているものと対応させながらこなす。
10	・洗濯物を干す。	・洗濯物の干すことができる。	・干し方の見本は、2点留める物、1点留める物を指示し、子どもの実態に合わせて分ける。
5	・ワークシートを響く。	・本時を振り返る。	・ワークシートで様子を伝えたり、家庭で使っている洗剤を調べよう宿題にし、家庭と連携を図る。

4. 準備物  
洗濯物(ランチョンマット、ピブス、軍手)、洗濯機、いろいろな洗剤、かご、角ハンガー、ものほし、デジカメ

5. 評価

	①洗濯の手順を知る。 ②洗剤の種類と使い方を知る。 ○でできた △部分的にできた 一どちらともいえない	◎興味関心をもって学習に臨むことができたか。
①	◎	
①	◎	
①	◎	
①	◎	
①	◎	
①	◎	
①	◎	

## 洗濯機を使って洗濯してみよう

月 日 ( )

氏名

つか  
使うもの

せんたく  
洗濯のしかた

1. 洗濯物を用意する。
2. 洗濯機の中に入れる。
3. 電源を入れる。
4. スタートボタンを押す。
5. 必要な洗剤の量を入れる。
6. 終了の合図の音を聞く。
7. 洗濯かごを用意する。
8. 干す。
9. 取り込む。

がっこう せんたくき  
学校の洗濯機でやってみよう！

あとで写真をはろう

# 被服「手洗いで洗濯してみよう」

せんたくようせんじ  
洗濯用洗剤いろいろあります。たとえば……

しらべよう  
家にある洗濯用の洗剤のなまえをしらべてみよう

<今日の学習の感想>

( ) かんたんだった。 ( ) むずかしかった

( ) がんばった。

( ) その他 [ ]

中学部 くらし「被服」学習指導略案

1. 題材名 洗濯・手洗いで洗濯しよう

2. 目標  
①洗濯(手洗い)の手順がわかる。  
②自分の身の回りのことに関心を持ち自らやろうとする。

3. 展開

時間	学習活動	指導内容	留意点
20	・洗濯(手洗い)の手順を聞く。 ・洗濯をする。 ・すすぎをする。 ・絞り。	・本時の活動に共通しをもつ。 ・手洗いの時に使えのと手順がわかる。 ・すすぎ終わりがわかる。 ・絞り。	・ワークシートと板書で説明する。 ・ハンガーを示す。 ・できそうな物を選ぶ。 ・適度な石けんの量を加減する。 ・石けんの泡を落とすのを確認する。
20	・ハンガーに干す。	・しわをのばして干す。	・活動の様子をデジカメで撮り、後で振り返りに使えるようにする。 ・場に応じて手を洗える。
10	・ワークシートを記入する。	・本時をふりかえる。	

4. 準備物 ハンカチ、ランチョンマット、洗剤、洗面器、角ハンガー、かご、ワークシート、デジカメ

5. 評価

	①洗濯(手洗い)の手順がわかる。 ②自分の身の回りのことに関心を持ち自らやろうとする。 ○でできた △部分的にできた 一どちらともいえない	◎興味関心を持って学習に臨むことができたか。
①	◎	
①	◎	
①	◎	
①	◎	
①	◎	
①	◎	
①	◎	
①	◎	

## 被服「ティッシュケースを作ろう①」

洗濯(手洗い)

月 日 ( ) 氏名

手洗いで洗濯してみよう

つか 使うもの

せんたくもの 洗 濯 物、 おけ、 せっけん、 角 ハンガー

洗い方 洗濯物が乾いたら、①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿でチェックしよう

1. 洗濯物を用意する。		やってみよう！  あとで写真をはろう
2. おけ、せっけんを用意する。		
1. 洗濯物をぬらす。		
4. よごれをみつける。		
5. よごれにせっけんをつける。		
6. 両手でもって、こする。		
7. おけの水ですすぐ。		
8. しぼる。		
9. すすぐ。		

<今日の学習の感想>

( ) かんたんだった。 ( ) むずかしかった

( ) がんばった。

( ) その他 [ ]

中学部 くらし「被服」学習指導略案

- 題材名 「被服」ティッシュケースを作ろう①
- 目標
  - ①簡単な刺繍を刺すことができる。
  - ②ミシンの扱いを知る。
- 展開

時間	学習活動	指導内容	留意点
	[1/2]		
5	・スウェーデン刺繍の手順を見直しをもつ。	・スウェーデン刺繍の手順の見直しをもつ。	・ワークシートと対応させながら説明する。
40	・糸を選ぶ。  ・刺繍をする。	・好きな色の糸を選択する。  ・刺繍の手順が分かる。	・はっきりとした色を中心に用意する。  ・生徒の実態に応じて刺繍を刺す部分を決め、必要に応じてチャコペンで印をつける。 ・活動の様子をデジカメで撮影し、振り返りに使えるようにする。
5	・まとめ	・今日の感想をワークシートに記入する。	

- 準備物  
裁断したジャバクロス(25×14cm)、刺繍針、刺繍糸、はさみ、チャコペン、ワークシート
- 評価

	①簡単な刺繍を刺すことができる。 ②ミシンの扱いを知る。 ○できた △部分的にできた -どちらともいえない	③興味関心をもって学習に臨むことができたか。  ○ △ -
①	②	
①	②	
①	②	
①	②	
①	②	

## 被服「ティッシュケースを作ろう②」

ティッシュケースをつくらう

月 日 ( ) 氏名

つく 作り方

①スウェーデンししゅうをする。

②型 作りをする。

③ミシンでぬう。

④うらがえす。

↓

①スウェーデンししゅうをする。

つか 使うもの

針、 ししゅう糸、 布、 はさみ

1. ししゅう糸の色をえらぶ。		スウェーデンししゅうにチャレンジ！  あとで写真をはろう。
2. 30cmに糸を切る。		
3. 針に糸を通す。		
4. ししゅうをする。		

<今日の学習の感想>

( ) かんたんだった。 ( ) むずかしかった

( ) がんばった。

( ) その他 [ ]

中学部 くらし「被服」学習指導略案

- 題材名 ティッシュケースを作ろう②
- 目標
  - ①簡単な刺繍を刺すことができる。
  - ②ミシンの扱いを知る。
- 展開

時間	学習活動	指導内容	留意点
	[2/2]		
5	・手本を見る。	・ティッシュケースの作り方の手順の見直しをもつ。	・ワークシートで確認しながら手順を見せる。
40	・型紙を当て、アイロンをかける。 ・まち針でとめる。  ・線に沿ってミシンでぬう。  ・布を返して、ティッシュをいれる。	・型つくりの仕方がわかる。  ・まち針のとめ方がわかる。  ・ミシンの使い方がわかる。  ・布を返すことができる。	・刺繍の終わった生徒から取り組む。 ・アイロンの置き方、使い方に注意する。(SITは、アイロンを使用している生徒につく)  ・縫う箇所にチャコペンで線をひいておく  ・角など難しい箇所は援助する。
5	・まとめ ・ワークシートに感想を記入する	・今日の学習を振り返る。	・活動の様子をデジカメで撮影し、生徒が振り返りに使えるようにする。

- 準備物 アイロン、アイロン台、型紙、裁縫セット、ミシン、ハサミ
- 評価

	①簡単な刺繍を刺すことができる。 ②ミシンの扱いを知る。 ○できた △部分的にできた -どちらともいえない	③興味関心をもって学習に臨むことができたか。  ○できた △部分的にできた -どちらともいえない
①	②	
①	②	
①	②	

**ティッシュケースをつくろう②**

月 日 ( )

氏名

②型つくりをする。

つか  
使うもの

アイロン

アイロン板

型紙

まち針と針山

- 型紙をあてて、アイロンをかける。
- まち針でとめる。

③ミシンでぬう。

つか  
使うもの

ミシン

ミシン糸

まち針と針山

はさみ

- ミシンに糸をかける。
- (ミシンに下糸をセットして、ぬう)
- ミシンでぬう

ミシンにチャレンジ!  
あとで写真をはろう。

④うらがえす。

かんせい  
完成!

<今日の学習の感想>

( ) かんたんだった。 ( ) むずかしかった。

( ) がんばった。

( ) その他 [ ]

中学部 くらし「被服」学習指導略案

- 題材名「ふきんを作ろう」
- 目標
  - ①波縫いができる。
  - ②玉結び、玉留めができる。
- 展開

時間	学習活動	指導内容	留意点
10	・基本的な縫い方の手順を見る。 (糸通し、玉結び、波縫い、玉どめ)	・基本的な縫い方がわかる。	・縫い方の名称はワークシートでも確認できるようにする。
35	・基本的な縫い方の練習をする。 (二重にしたさしをしるしの通りぬう。)	・玉結びができる。 ・波縫いができる。 ・玉留めができる。	・生徒の実態に応じて課題とする技法を限定して取り組めるようにする。 ・手順をワークシートで確認しながら行えるようにする。 ・生徒の実態に応じて波縫いの縫を工夫する。
10	・ワークシートを記入する。	・本時の振り返りをする。	・活動の様子をデジカメで撮り、後で振り返りに使えるようにする。

- 準備物  
さらし布、チャコペン、裁縫セット(針、針山、はさみ、糸) デジカメ
- 評価

	①波縫いができる。 ②玉結び、玉留めができる。	○興味関心をもって学習に取り組むことができたか。
①	○できた △部分的にできた -どちらともいえない	○できた △部分的にできた -どちらともいえない
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		

被服「ボタン付け」

**ふきんを作ろう**

月 日 ( )

氏名

つか  
使うもの

さらし

針と針山

はさみ

糸

- 針に糸をとす
- 玉結びをつ
- 波ぬいをする
- 玉どめをつくる

はしをもって、ひとさし指のつめの上くらいで1回まく。  
親指でおさえ糸をすらし、針が自を穿る。

糸のうらから針をとす。  
おもて・うらとくりかえしぬ

ぬいおわりのところで、針を親指でおさえる。糸から出て  
いる糸を針に1回まく。親指で糸をおさえ、針をひっぱる。

チャレンジ!  
あとで写真をはろう。

<今日の学習の感想>

( ) かんたんだった。 ( ) むずかしかった

( ) がんばった。

( ) その他 [ ]

中学部 くらし「被服」学習指導略案

- 題材名「ボタン付け」
- 目標
  - ①ボタン付けの手順がわかる。(実態に応じて2つ穴、4つ穴、足つきボタン)
  - ②玉結び、玉留めができる。
- 展開

時間	学習活動	指導内容	留意点
5	・2つ穴のボタン付けのやり方を見る	・ボタン付けのやり方がわかる	・教員がモデルを見せる。 ・縫い方の名称はワークシートで確認させる。
40	・ボタン付けの練習 ・繰り返し練習	・針先をよく見てボタン付けができる	・けがのないよう厚面の衣類などの間隔を倍つ ・生徒の実態に応じて課題とする技法を限定して取り組む
5	・まとめをする	・今日の学習を振り返ることができる	・デジカメで活動の様子を撮り、生徒が振り返りに使えるようにする。

- 準備物 フェルト布、ボタン各種、裁縫セット
- 評価





	①2つ穴のボタン付けの手順がわかる。 ②玉結び、玉留めができる。	○興味関心をもって学習に取り組むことができたか。
①	○できた △部分的にできた -どちらともいえない	○できた △部分的にできた -どちらともいえない
②		・興味関心(その他特筆事項)
③		・興味関心(その他特筆事項)
④		・興味関心(その他特筆事項)
⑤		・興味関心(その他特筆事項)
⑥		・興味関心(その他特筆事項)
⑦		・興味関心(その他特筆事項)
⑧		・興味関心(その他特筆事項)
⑨		・興味関心(その他特筆事項)
⑩		・興味関心(その他特筆事項)









住まい「下駄箱掃除をしよう」

ボタンつけ

月 日 ( ) 氏名

ボタンをつけよう

つかうもの (道具)  フェルト  針と針通  はさみ  茶

<p>2つ穴のボタン</p>  <p>茶を2茶どりにして玉結びをして作り、ボタンをつける位置の着を裏からすくいあげ、ボタンの穴に茶を通します。</p>  <p>2つあるボタン穴に針と茶を3回通します。つけた後にボタンをはめやすいように、ボタンを少し寄せ、つけましょう。</p>  <p>ボタンと布地の間に茶を出し、図のように針についている方の茶で何回か(3回ぐらい)巻いて、針を通して固定します。</p>  <p>つけ役位置から布地の裏側へ針をさし、裏側で茶を玉どめをします。</p>	<p>4つ穴のボタン</p>  <p>2つ穴ボタンと同じやり方で、4つの穴に茶を通して取りつけます。</p> <p>足つきボタン</p>  <p>布地にたいしてボタンの足が立つようにボタンを置きます。</p>  <p>糸の端を玉結び、着の裏からボタンの足の穴に針をさしてボタンの穴をくぐらせ、針を着の裏へ戻します。これを3回繰り返します。</p>  <p>布の裏側で玉結びを作り、玉どめと布の間に茶を通してから茶を切り取ります。</p>
--	--

<今日の学習の感想>

( ) うまくできた。 ( ) むずかしかった

( ) がんばった。

( ) その他 [ ]

中学部 暮らし「住まい」学習指導略案

- 題材名「下駄箱の掃除をしよう」
- 目標
  - ①下駄箱の掃除の手順を知る。
  - ②手順に従ってやってみる。
- 展開

時間	学習活動	指導内容	留意点
10	・下駄箱掃除の手順を聞く。	・手順がわかる	・ワークシートで確認する。
30	・手順に従ってやる男女別に行う。	・手順表を見てきれいに掃除をする。	・玄関で男女別にやってみる。 ・ワークシートで確認する。
10	・ワークシートに感想を書く	・まとめを意識できる	・活動の様子をデジカメで撮影し、生徒が振り返りで見えるようにする。

4. 準備物 ミニほうき、ちりとり、バケツ、ぞうきん、新聞紙、ワークシート、デジカメ





5. 評価

①下駄箱の掃除の手順を知る。 ②手順に従ってやってみる。	○興味関心をもって学習に取り組むことができたか。
○できた △部分的にできた △どちらともいえない	○できた △部分的にできた △どちらともいえない!
① ②	・興味関心 (その他特筆事項)
① ②	・興味関心 (その他特筆事項)
① ②	・興味関心 (その他特筆事項)
① ②	・興味関心 (その他特筆事項)
① ②	・興味関心 (その他特筆事項)
① ②	・興味関心 (その他特筆事項)




下駄箱の掃除

月 日 ( ) 氏名

下駄箱の掃除をしてみよう

つかうもの (道具)  ミニほうき+ちりとり  バケツ  ぞうきん  新聞紙

掃除の仕方

1. 道具を用意する。		<p>やってみよう!</p> <p>あとで写真を撮ろう</p>
2. くつを出して新聞紙の上におく。		
3. ミニほうきで砂や土をはき、ちりとりでとる。		
4. ぞうきんをかたくしぼる。		
4. げたばこの中をふく。		
5. 中がかわいたら、くつをもどす。		
9. 道具を片付ける。		

<今日の学習の感想>

( ) かんたんだった。( ) むずかしかった

( ) がんばった。

( ) その他 [ ]